

※下記項目すべてご記入ください。

参加希望プログラム プログラムA プログラムA+B

申込日	年 月 日	〒	現住所	受講希望者の 顔写真を 貼付してください。 裏面にのり付け 裏面に氏名記入
ふりがな				
氏名				
生年月日	年 月 日(歳)	電話番号		
性別	<input type="checkbox"/> 男性 ・ <input type="checkbox"/> 女性	携帯番号		
会社名・所属組織名	(部署・役職:)			
業種・業務内容	E-mail (携帯不可)			
現在の事業(活動)内容と課題				
オンライン受講は可能か?				
<input type="checkbox"/> 可能 ・ <input type="checkbox"/> 不可能				
不可能の場合、下記に理由をご記入ください。 _____				
アカデミーでは具体的に何を学びたいか?				
アカデミー修了後の目標は何か?				
開発希望アイテム (テーマ:おうち時間を楽しむ) プログラムB参加希望者のみご記入ください				
この商品を開発したい理由 _____				

※ 本応募用紙に記載された内容は、個人情報として厳密に管理するとともに、本アカデミー運営に係る業務以外に使用することは一切ございません。
 ※ 本応募用紙は福島県産品振興戦略課Webサイト (<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/32031c/>) からダウンロードできます。

お問い合わせ・お申込み

Fukushima Creative Craft Academy

福島のものづくりの未来を担う人材育成講座

2020年、世界を震撼させた「新型コロナウイルス」。新しい生活様式、ソーシャルディスタンス、テレワーク…、突然訪れたライフスタイルの変化は県内の伝統工芸・地場産業事業者の販売、商品開発等にも大きく影響を与えています。今年度のアカデミーでは、この「Withコロナ」に適応し、そして今後訪れる「アフターコロナ」社会にどうビジネスを展開していくのか、専門家の講義や商品開発を通して、これからの「ものづくり」を学びます。

受講料 無料
※一部負担あり
オンライン受講も可
(プログラムAのみ)

テーマ: 「Withコロナ」「アフターコロナ」時代の「ものづくり」を学ぶ

- 新型コロナウイルス感染症予防対策** : 感染予防対策(次ページ参照)を十分に行った上で、講義を行います。
- オンライン受講も可能** : 「自宅や職場で受講したい」という受講生のために、Web会議アプリ「Zoom」によるオンライン受講も可能です。
※開講式、成果発表会、閉講式、プログラムBについては基本的には会場にて参加していただきます。
- 「Withコロナ」「アフターコロナ」時代に即した講義内容** : オンライン売り場やクラウドファンディングの発展性など、ビジネスに直結する講義を通じて、「Withコロナ」「アフターコロナ」時代に即した「ものづくり」を学びます。
- ECサイトによるテスト販売** : 開発した新商品は、ECサイト「Creema」でテスト販売を実施し、オンライン販売の展開を探ります。



第4期生 募集中

応募締切: 令和2年 7月20日(月)

※応募者多数の場合、選考により受講者を決定します。

校長



デザイナー
コシノジュンコ氏

目的

- 県内伝統工芸・地場産業の担い手が、デザイン・マーケティング・ブランディング等に係る知識を習得し、販売力を強化することを目指します。
- 本アカデミーをきっかけに、県内の各産地の連携を図りながら、若手が参入しやすい環境づくりを目指します。

受講対象

- 県内の伝統工芸・地場産業の従事者・事業者・組合員等
- 県内の伝統工芸・地場産業の担い手を目指す者

開催概要

プログラムA | クリエイティブセミナー

10:30 - 12:00 (講座60分+質問交流会30分)

デザイナー、バイヤー、プロデューサーなど有識者を招いた講習会。講義後は、講師に直接質問できる交流会を実施。

プログラムB | 商品開発勉強会

13:00 - 15:30

プログラムAと合わせての受講になります

受講生1名につき1商品を実際に商品化し、テスト販売する商品開発勉強会。総合プロデューサー・川又俊明氏が面談を行い、プレストやサンプル製作を重ねて商品化を目指します。1月に開催される成果発表会では、開発した商品のプレゼンテーションを実施。その後、ECサイトでテスト販売を実施します。 ※新商品のサンプル制作に係る費用(材料代等)は県が負担します(上限10万円)。

※5名程度のグループを数グループ作り、グループ毎に川又氏の面談を実施します。面談時間以外は、それぞれのグループ内で開発商品の説明を行い、意見を出し合います。

商品開発テーマ『おうち時間を楽しむ』

新型コロナウイルス感染症の影響で「おうち時間」が見直されています。今回は、家での過ごし方や居住空間の充実、ものの価値や時間の過ごし方に注目し、商品開発を行います。

例

【居住空間の充実(インテリア雑貨/ファッションアイテム)】
フラワーベース、文房具、食器(酒器)、モビール、室内生活着など
【過ごし方の提案】
工芸DIYキット、趣味アイテム(読書/ゲーム)、リモートワークなど

※プログラムBのみの受講はできません。

スケジュールと講義テーマ

開講式(第1回)	8月3日(月)	開講式	
		〈ワークショップ〉 手に取るデザイン 制約の中から最適な表現方法を考えるデザインワークショップ 講師：コシノジュンコ氏	オリエンテーション 商品開発勉強会の概要説明 講師：川又 俊明氏

※開講式、ワークショップ、オリエンテーションの開催時間は別途ご連絡します。

	日時	プログラムA (10:30-12:00)	プログラムB (13:00-15:30)
第2回	8月25日(火)	講義 コロナショックにおける現状分析 売り場(オフライン減/オンライン増)/海外販路/事例紹介 講師：川又 俊明氏	企画アイデアプレスト 開発商品アイデア、商品概要、スケッチ、ネーミング、コンセプトを提出し、川又氏からアドバイスをもらう。
視察	9月~10月	先進地視察 (実施の有無、訪問場所等については検討中です。詳細については決定次第随時お伝えします)	
第3回	10月5日(月)	講義 ブランド創りとクラウドファンディングの可能性 講師：下川 一哉氏	第1回サンプル提出 8月に川又氏から指摘された内容を踏まえて製作したサンプルを提出し、さらにアドバイスをもらう。
第4回	12月7日(月)	講義 地域価値を創造するデザイナー 講師：花澤 啓太氏	第2回サンプル提出 10月に川又氏から指摘された内容を踏まえて製作したサンプルを提出し、さらにアドバイスをもらう。
閉講式(第5回)	1月25日(月)	講義 オンラインの売り場の可能性 講師：株式会社 クリーマ	成果発表会 新商品のプレゼンテーションを実施。最終アドバイスをもらい、3月のテスト販売に向けて商品のブラッシュアップを行います。 講評:コシノジュンコ氏、下川一哉氏、株式会社クリーマ
	3月(予定)	閉講式 テスト販売(ECサイト「Creema」) ※Creema内で「福島県の工芸品」を特集し、販売します	

※第5回講義、成果発表会、閉講式の開催時間は別途ご連絡します。

主催

福島県

受講料

無料(ただし先進地視察について一部自己負担あり)

場所

第1回(開講式) 第5回(閉講式) コラッセふくしま 多目的ホール
福島県福島市三河南町1番20号

第2・3・4回 ビッグパレットふくしま
プレゼンテーションルーム
福島県郡山市南二丁目52番地

注意事項

< 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について >

- 講義は100名以上収容できる会議室で開催。ソーシャルディスタンスを確保し、換気を行いながら開催します。
- 受講生、講師の皆さんともにマスク着用にて出席していただきます。(スタッフもマスク着用で対応します)
- ハンドソープ、アルコール消毒剤を準備しますので、入室前の手洗い、消毒に御協力をお願いします。
- 受講前、ご自宅での検温に御協力をお願いします。検温の結果、37.0℃以上の熱があった場合、講義は欠席してください。
- 体調不良(咳、鼻水、喉の痛み、味覚・嗅覚障害等)の場合、講義は欠席してください。
- 入室前、非接触型体温計にて検温を行います。

- 感染状況の拡大及び緊急事態宣言の発令、都道府県をまたぐ移動の自粛要請等の状況により、講義を中止又は変更する場合があります。
- 感染の状況によっては、オンライン受講のみとなる場合があります。

- 原則として全6回(先進地視察を含む)すべてに出席いただけます。一部のみの参加はご遠慮ください。

3回以上欠席した場合は 修了証を交付しません。

- 会場までの交通費は各自負担となります。
- 先進地視察を実施した場合、受講生負担が一部発生します。
- 天候および講師の急病等、やむを得ない事情により、講義日時の延期、または内容を変更する場合があります。

講師紹介

校長

コシノジュンコ氏

1978年から22年間パリコレクション参加。以降、北京、NY(メトロポリタン美術館)、キューバ、ロシア、スペインなど世界でショーを開催。国際的な文化交流に力を入れる。オペラやブロードウェイミュージカルの舞台衣装、JOC セカンドエンブレム等を手掛ける他、国内被災地への復興支援活動も行っている。東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 文化・教育委員、2025年国際博覧会誘致特使、平成29年度文化功労者。平成28年度より福島県と伝統工芸のブランド「FUKUSHIMA PRIDE by JUNKO KOSHINO」を発表。和紙や会津木綿など多くの伝統的工芸品をデザインしている。



総合プロデューサー

川又 俊明氏

早稲田大学卒業後、デザインの運動体「DESIGN ASSOCIATION NPO」にて、15年に渡り統括プロデューサーを務め、数々のクリエイティブ・プロジェクトを企画プロデュース。ロンドン、ミラノ、パリ等における海外展示会も手がけ、日本のクリエイティブを発信してきた。独立後、日本全国のモノづくりを日本へ、そして世界へ羽ばたかせるために、様々な地場でのプロデュース活動に力を注いでいる。LEXUS NEW TAKUMI PROJECT サポートメンバー、ジェットロ事業 Takumi Next プロデューサー、シンクシンク(株)代表取締役。



開講式/ワークショップ/成果発表会/閉講式	開講式/オリエンテーション/プログラムA(第2回)/プログラムB
-----------------------	----------------------------------

プログラムA クリエイティブセミナー

デザインプロデューサー/エディター
株式会社 意と匠研究所代表



下川 一哉氏

1963年、佐賀県生まれ。1988年、早稲田大学政治経済学部経済学科卒業。同年、日経マブロウヒル(現・日経BP社)入社。日経イベント編集、日経ストアデザイン編集などを経て、1994年に日経デザイン編集に配属。1999年より副編集長。2008年より編集長。2014年3月31日に日経BP社を退社、4月に意と匠研究所を設立。佐賀県有田焼創業400年事業デザインディレクター、LEXUS NEW TAKUMI PROJECT サポートメンバー、クラウドファンディング「異彩!超絶!!のジャパンクラフト」(未来ショッピング)主宰。

第3回/成果発表会	第4回	第5回/成果発表会
-----------	-----	-----------

応募の流れ

1. 応募用紙に必要事項を記載
2. 応募締切7月20日(月)必着
※応募者多数の場合は選考になります。
3. 受講者決定通知(E-mailにて)
7月28日(火)予定

【応募方法】
FAX、Eメール、または郵送によりお申込みください。

【応募先】
FAX : 024-593-5502
E-mail : creative-fukushima@yamakawa-p.jp
住所 : 〒960-2153 福島県福島市庄野字清水尻1-10 株式会社 山川印刷所内
ふくしまクリエイティブクラフトアカデミー事務局宛
TEL : 024-563-6901